

早稲田大学 国際教養学部 数学 講評

〔総合分析〕

出題形式	マーク式
試験時間	60分
特徴・その他	

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
1	(1)複素数平面 (2)三角関数の連立方程式 (3)順列組み合わせ	(1)原点以外の点を中心とする回転に関する問題。後半は相似図形に気付くとよい。 (2)定番の三角方程式でないので手こずった受験生も多いと思われる。 $\sin^2 x \cos^2 y = (1 - \sin^2 x)(1 - \sin^2 y)$ とするとよい。 (3)5⇒2⇒1の順に決定すること。	標準
2	集合の表す領域	集合は円と直線を境界としているので調べる共有点については苦労しない。集合記号の Pt, \overline{Pt} が境界を含むか否かで選択肢の等号に気をつけたい。	標準
3	図形の式, 積分	曲線がいずれも y 軸対象であることに気付くべきである。円と放物線の共有点に関する頻出問題といえる。2式の連立で x を消去することができたであろうか。	標準

〔総合コメント〕

<p>問1に時間をかけすぎると問2, 3を確実に採れなくなる。問題全体をみて作戦を立ててもらいたい。問1が5割でも問2, 3で満点を狙うことが可能な位に難易度としてはバラつきが感じられた。しかし問1をいわゆる小問と見なければマークシートの数学の問題らしい構成といえる。設問ごとの時間配分が鍵を握る。</p>
